

# 日本政策金融公庫

## 農林水産事業のご案内

# 2020



## Contents

2	ごあいさつ
3	日本政策金融公庫の概要
4	農林水産事業の概要
5	融資の状況と特徴
5	農業分野
6	林業分野
7	漁業分野
8	加工流通分野
9	セーフティネット機能の発揮
10	6次産業化・輸出支援
11	新規就農・農業参入支援
12	コンサルティング融資活動の推進
16	多様な経営支援サービスの提供
17	農林漁業分野における民間金融機関連携の推進
19	融資制度
21	実績資料
22	店舗地図

(注)本誌の計数について

1. 単位未満の計数  
金額の単位未満は切り捨て、比率(%)は表示前桁を四捨五入しています。したがって、合計欄の計数は、内訳を集計した計数と一致しないものがあります。
2. 表示方法  
単位に満たない場合は「0」と、該当数字のない場合は「—」と表示しています。

## ごあいさつ

日本政策金融公庫農林水産事業に対する皆さまの日頃からのご理解とご協力に心からお礼申し上げます。

日本公庫農林水産事業は、国の施策に沿って、農林水産業・食品産業に携わる皆さまの経営発展の支援や自然災害の影響などに対するセーフティネット機能の発揮のため、長期の融資を行うとともに、多様な経営支援サービスの提供などを進めています。

人口減少、デジタル革命、グローバル化の進展などにより社会や産業構造が急激に変化する中、農林水産業が将来にわたって持続的に発展するよう、その生産性の向上と新陳代謝の促進に寄与すべく、農業分野においては構造変化などを背景として拡大する担い手の攻めの経営展開への取組みを、林業分野においては国産材の安定的・効率的な供給体制の構築や需要拡大に向けた取組みを、漁業分野においては漁船漁業の構造改革などに資する先駆的な取組みを、加工流通分野においては国産農畜水産物の利用拡大や事業の高度化・合理化に向けた取組みを、将来における事業性の評価に力点を置いて適切なリスクをとりながら、民間金融機関との連携・協調を図りつつ、積極的に支援してまいりました。

一方で、近年、毎年のように襲ってくる大規模な自然災害や家畜伝染病の流行などに係るセーフティネット需要に、迅速かつきめ細やかに対応してまいりました。

本年は2月以降、新型コロナウイルスの感染が拡大し、その影響は、世界中のあらゆる分野に及び、我が国経済にも未曾有の打撃を与えています。特に観光、外食、イベントなどに関連する産業への影響は甚大で、ここに商品を提供する農林水産業や食品製造業にも深刻な影響が及んでいます。

日本公庫農林水産事業は、2月に政府が発表した第一弾の緊急経済対策以降、販路を失ったり供給を阻害されたりして収入が減少した農林水産業者・食品産業の皆さまが事業を継続していただけるよう、当面の資金繰り支援に全力で取り組んでまいりました。



そして現在、感染拡大の防止と経済の回復の両立を図るため、ウィズコロナの新たな生活様式(三密の回避、ソーシャルディスタンスの確保、マスクの着用など)を前提としつつ経済再建のステージへと移ってきています。日本公庫農林水産事業としても、資金繰り支援の段階から、デジタル化の進展などポストコロナも見通しつつ、コロナ禍にあるお客さまの経営の再建、反転攻勢など、地域の農林水産業の担い手の方々の経営発展支援の段階へと前に進めていく必要があると考えています。

このため、お客さまの現状と課題を把握・共有し、融資はもちろんのこと、マッチングなどの経営支援サービスも活用しながら、伴走型で課題を解決することを通じてお客さまの経営発展を支援する「コンサルティング融資活動」を、国の政策や関係機関と連携しながら本格化させてまいります。

私どもは、これからも、「現場本位」をモットーに、お客さまの未来をともに考え、農林水産分野への融資に取り組んでいる民間金融機関をはじめ、各都道府県で関係する皆さまとの連携を一層密にしながら、農林水産業・食品産業の成長と持続的発展に貢献できるよう努めてまいりますので、さらなるご理解、ご協力を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

株式会社 日本政策金融公庫  
農林水産事業本部長 **新井 毅**